

葛飾 FC ニュース

VOL22 2005 8月号

【葛飾 FC、中山競馬場杯優勝！】

7月27日、28日に開催された中山競馬場長杯で、葛飾FC6年生チームがみごと優勝いたしました！

優勝については、皆様ご存知とは思いますが、葛飾FC全学年にプラスになるように、今後の指導、サポートのヒントになればと考え、同行していただいた高橋コーチのコメントと、大関麦君のお母さんの臨場感溢れる決勝戦の記事を記載いたしました。

試合戦績

・7月27日 中山競馬場杯1日目

対 塚田小 8・1 (今野×2、江島×2 / 今野×2、川村、衛藤)

対 大野小 6・0 (宝達、川村 / 今野、川村、宝達、江島)

・7月28日 中山競馬場杯2日目 & 決勝リーグ

対 二俣小 1・1 (江島 /)

対 中山小 2・1 (衛藤×2 /)

予選リーグ1位通過！

対 海神スポ 3・0 (今野、宝達 / 江島)

対 法典小 3・1 (/ 今野、宝達、大山)

中山競馬場長杯優勝！！！！

決勝対戦記

7月26日は台風の影響で試合中止。平日会社を休み同行したコーチの嘆きをよそに、7月27日快晴のもと、予選リーグが始まった。

第1試合から暑い！子供達の体調が心配だったが、皆元気に慣れない芝の上で走っていた。そしてシュートが外れる事もあったが、前へ前へと進み、得点を重ね、勝った！子供の表情から、船橋選手権の時のようなはりつめた雰囲気ではなく、全員が楽しみつつ心地良い緊張感の中でプレイしているのを感じた。

ベンチもフィールドも応援もひとつになった気持ちになりました。第2試合も、子供達の攻撃はとまらず。攻められても守り、各プレイヤーが自分の仕事をちゃんとこなし、お互いにフォローし、勝利をおさめた。

本当に「GOOD JOB！」の連続だった。これはいけるかもしれない！翌日試合の応援へ行けない母達は「明日、仕事を休みたい～！」と叫んでいた。ずる休みを試みたが無理だった(涙) 翌日の対戦記は大関さんをお願いした。

(文：梶田匠 母)

葛飾 FC チーム優勝
表彰式直後の喜びの表情です



7月28日、競馬場長杯2日目の朝、6:30に子どもたちは集合した。

昨日の2試合で、芝のグラウンドにも大きなゴールにも慣れた。天気も快晴、あとは勝ってメダルを取りたい。今までみんな良くがんばってきたんだから、ひとつくらいご褒美が欲しいよね？

第1試合は8:00にキックオフ。朝一番の試合ではいつも調子が出ない葛飾。やはり早い時間に先制点を取られてしまう。けれど何とか前半のうちに追い付き、1-1で引き分けた。これで2勝1分。1次リーグ突破まであと1勝。第2試合は1:30から始まるので、その間にだれてしまわないか心配。ただ、この大会は冷房のある所で休憩できるのでその点はgood！1次リーグ最終戦を前に、大量の得失点差を挽回しようと焦ったのか、勝ち点で並んでいた二俣が引き分けで試合を終えた。おかげで葛飾は引き分け以上で決勝リーグに進めることになった。

暑い時間に始まった1次リーグ最終戦。7月は船橋選手権8試合、場長杯4試合、計12試合を戦っている。暑いなかでの試合が続く疲れもあるだろう。前の晩眠れなかった子もいた。でもみんなが踏ん張って、暑さに負けず戦い抜いた。結果は2-1の勝利。1次リーグ突破を決めた。

決勝リーグに残ったのは、法典、海神スポーツ、葛飾。第1試合は法典vs海スポ。船橋選手権では強豪相手に頑張りを見せていた海スポだったが、3-0で法典の勝ち。第2試合は葛飾vs海スポ。得失点差を考えると、3点差以上をつけて勝ちたい。いままで2戦2分と、なかなか勝ちきれなかった相手に3-0で快勝。得失点差が法典と並んだ。

決勝戦となった葛飾vs法典。先制点を挙げたのは今野くん。すかさず高橋コーチとベンチの子どもたちから声がかかる「グッド・ジョブ!!!」しかしすぐに同点にされてしまう。今までならこれで気落ちしてしまうところだが、今日は違う！粘り強い守備と積極的な攻撃。耐え切れず法典が痛恨のファウル。ゴールほぼ正面、絶好のチャンス！蹴るのは宝達くん。彼は船橋選手権でも準決勝リーグ進出を決める1点をフリーキックで挙げている。頼みます！そして、ゴ~~~~ル!「グッド・ジョブ!!!」守備も踏ん張って法典に追加点を許さ

ない。そして大山くんのトドメの一発！「グッド・ジョブ！！！」

このあと私はわけの分からないことを叫び続け（あとで麦に怒られた、スミマセン）メールも打ち続け、写真も撮らなきゃ！！そして、勝利を告げる笛が鳴り・・・

優勝が決まったのは、18：30。朝の集合時間から既に12時間がたっていた。本当にお疲れ様、子どもたちも、コーチの皆さんも、お母さんたちも（仕事中に携帯見ていた方々も）

（文：大関麦君の母様、ご協力ありがとうございました。）

高橋コーチからのコメント

中山競馬場長杯優勝、おめでとうございます。

私は、審判ヘルプで同行し、その場に居合わせる幸運に恵まれました。そのため、レポートせよと。分不相応ながら、私の見た風景をここに少し。

戦績は6戦5勝1引分。得点23失点4。試合内容も含め、圧倒的強者。選手達は100%に近いパフォーマンスを発揮できたのではないかと思います。

常々、私は不思議を感じていました。余裕残しで試合を終える選手の姿に。「もっと、できたんじゃないか？練習したことをどれだけ試してきた？」。出し切ることの難しさを考えれば、無理からぬこと。しかし、精一杯やってこそ、続く成長があるのだから、これではいかん。さてさて、どうしたらいいものか？

この問いに答えを示してくれたのは6年生、彼等でした。優勝という成績はもちろんです、それ以上に、最初から最後までサッカーを楽しんでいたこと、笑顔が絶えなかったことが素晴らしい。これが「サッカーを楽しむ選手権」であっても、優勝は揺るぎない。そう、楽しむということに引き摺られて、全てを出し切ることが出来たのではないかと思ったのです。

「楽しむ」と一言でいっても、意味解釈は難しく、楽しみ方は様々。一概に何と言えものでもありません。しかし、あえて今回の楽しむを定義してみれば、まず、上手いプレーをすることを楽しみ、それをお互いに称え合って楽しむ。下手なプレーをしてしまったら、しっか

りせい！と尻を叩き合うことを楽しむ。失敗を成功へ変えていく意欲を楽しみ、自信の芽生えを楽しみ、そういう変化を見せた選手を皆で感心することを楽しむ。試合に出る出ない関係なく、勝利へ向かってチーム（選手・コーチ・保護者全てを含む）が1つとなる雰囲気を楽しむ。結果、手にした勝利を阿呆のようにはしゃぎ楽しむ。そういう楽しみ方を全員がしていたように思います。そういう楽しみ方は成長を運ぶだろうなって。

こういうことは一朝一夕でなせることでは無い。普段からの選手の努力、コーチの指導、保護者のご協力・応援など、6年生に関わる全てのモノ・コトが集積し、それが肥沃した土壌として存在したからに違いありません。優勝という成績も羨ましいが、サッカーの楽しさを知り、教え、支えた、その風土こそが羨ましい。この結果は通過点。これからも土壌を肥やし続け、更に数多くの有形無形の花を咲かすことを期待します。

私も羨ましがってるだけでは、いけません。逆に、選手に羨ましがられる位に、楽しんでやるっ。そして、もう一度（というか何度でも）あの感動を味わいたいと思います。とはいうものの、楽しみと楽（らくちん）は紙一重ゆえ、にやにやしてるだけでもいけません。叱咤激励・苦楽もなくしてはならんが、そのバランスは？具体的実践方法は？さて、どうしたものか？問いの解決は、更なる問いを喚ぶようであります。

（コメントいただきありがとうございました。）

衛藤コーチからのコメント

場長杯優勝という葛飾FCはじまって以来の快挙、感動の瞬間に、幸運にも立ち会う事が出来ました。6年生の選手全員に感謝します。

当初、3日間の予定が台風の影響で2日間の変則開催に変更されました。その結果、暑い時期での開催にもかかわらず、1日に4試合フル出場した者もいます。選手達は本当に良く頑張りました。決して相手に恵まれた訳ではなく、先の選手権の準決勝リーグで惨敗したチームとは別チームのような活躍でした。

今回の快挙の一番の要因は選手達の頑張り（サブの子供達も含めて）ですが、やはり、5年の高橋コーチのア

ドバイスによるところが大きいと思います。この短期間に今野君中心のシステムを浸透させ、ポジション別のそれぞれの役割も的確に伝えてもらいました。サブの選手達の試合への応援の仕方についてもです。試合への出場時間の差はありましたが、今回の結果については選手全員が満足していると思います。また、勝つことが全てではないけれど、導き方によって結果も出せ、選手達も喜び、また良い思い出を作ってやれるんだと改めて考えさせられました。今まで指導してきた私にとっては嬉しい反面、正直複雑な気持ちです。ただ、大いに勉強になる大会でした。

これから、今野君が抜けた後、新たなチーム作りをしなければなりません。また良い結果が出せるよう、選手、コーチ共に頑張りましょう。

6年生のみなさんは、小学生として残り僅かとなりましたが、今回の結果に満足することなく、次の大会でも結果が出せるよう努力を重ねてください。5年生以下のみなさんも、6年生のようにそれぞれの大会で頑張ってください。

最後に応援に来て頂いた皆様（担当学年でまないのに2日間もお世話になった高橋コーチ）に感謝致します。本当にありがとうございました。

6年生母達からのコメント

- ・高橋コーチのアドバイスが子供達を前向きにさせ絶対勝てるという自信を持たせてくれたことが、とても大きいと思います。これからもご指導お願いしたいと思いました。
- ・大人になってから久しく味わった事のない感動を子供達から与えてもらいました。このような素晴らしい経験をさせてくれた頑張った子供達。指導して下さったコーチ、一緒に応援してくれた母達、協力いただいた他学年FCの方々すべての方々に感謝したいです。
- ・どの学年も頑張って、葛飾FCの全員がこの感動を味わって欲しいと思いました。

【船橋選手権戦績】

6年生

7月10日 船橋選手権予選リーグ1日目(於葛飾小)

対 大穴JSC レッド 1・0 (ノ大山)

対 夏見FC 1・0 (ノ宝達)

成績 2戦2勝

7月16日 船橋選手権予選リーグ2日目(於葛飾小)

対 咲が丘SC 1・0 (ノ宝達FK)

対 法典東FC 0・1

予選リーグ成績 4戦3勝1敗

予選リーグ通過

7月18日 船橋選手権準決勝リーグ1日目(於行田西小)

対 田喜野井FC 2・6 (大山ノ川村)

対 海神スポーツクラブ 0・0

準決勝リーグ 2戦0勝1敗1引分

7月23日 船橋選手権準決勝リーグ2日目(於行田西小)

対 船橋JYS 0・2

対 行田西FC 0・3

準決勝リーグ 4戦0勝3敗1引分

5年生

7月10日 船橋選手権予選リーグ初日(於芝山東小)

対 峰台FC 1・2

対 芝山東FC 0・3

7月16日 船橋選手権予選リーグ2日目(於芝山東小)

対 二宮FC 0・4

対 海神SC 0・4

暑い中、皆頑張りました。お疲れ様です。

【編集後記】

今回、中山競馬場長杯の結果を掲載しましたが、他の学年の対戦記も可能な限り掲載したいと考えております。掲載記事がございましたら、梶田までお寄せ下さい。